
《報告書 FD レポート》

FD 活動報告*

—名古屋学芸大学短期大学部における授業改善への取り組み—

The Report of Faculty Development in Nagoya University of Arts and Sciences Junior College

山本 恵**・伊藤 琴恵**・草野 圭一**・黒澤 宣輝**・古藤 真**

YAMAMOTO Megumi・ITO Kotoe・KUSANO Keiichi・KUROSAWA Nobuteru・KOTO Makoto

はじめに

文部科学省は1991年2月に大学審議会答申で「教員の教授内容・方法の改善・向上への取組み(ファカルティ・ディベロップメント)の積極的な推進」¹⁾を提言している。これを受け本学では1993年に「教授方法検討専門委員会」を発足し、本格的な活動を開始した。2009年に「授業改善等推進委員会」(以下FD委員会)と名称変更し現在に至る。

授業改善は教員にとって重要であり、FD活動はその取組み自体が教育と結びつけた研究活動といっても過言ではない。これまでFD委員会の活動内容は随時関係者に報告してきたが、全学的な活動の推進や改善意識のさらなる向上を目指して、一年間の活動をまとめ研究紀要での報告を試みた。

今年は20年の節目を迎える。FD委員会のこれまでの活動をあらためて振り返り、概略を述べた上で、2011年度の活動内容を報告する。

1. 活動の概要と経緯

本学FD委員会では、「名古屋学芸大学短期大学部授業改善等推進委員会内規」に則し、主に次のような活動を展開してきた。

- ・ 教員対象の研修会・講演会の実施
- ・ 授業評価アンケートの実施
- ・ 授業改善を目的としたICT活用の推進
- ・ 委員による会議・勉強会の実施
- ・ その他

以下にこれまでの活動状況を簡単に述べる。

(1) 研修会・講演会

FD研修会は発足当初より中心的な活動として位置付けられてきた。専門家を招いた講演会や実習を交えた研修会など、より効果的な研修を目指して、委員の話し合いのもとにテーマや内容を企画してきた。

1992年に実施された初回のテーマは「短期大学におけるFDを模索する」であり、同年「FD活

* 2012年9月14日受理

** 名古屋学芸大学短期大学部

動の現場から」として専門家を招いた講演会を行っている。その後の数年間は、学内研修会の実施または他大学の講演会やフォーラムに参加し、FD活動の在り方を模索しつつ方向性を見出すべく積極的な活動がうかがえる。その後活動が軌道に乗ると、年度毎に活動方針を打ち出し、それらに即したテーマで研修会を実施している。

表1 FD研修会テーマ一覧（2004～2010年度）

年度	回	テーマ	概要
2004	1	「やらされるFDの出口はどこか」	授業評価の意義、FDを自発的なものにするには、教育目標をカリキュラムに反映させるための手法に関する講演会
2005	1	IT活用によるファカルティ・ディベロップメント 「授業で活用するプレゼンテーションスライド」	教育用プレゼンテーションスライド作成の技術向上を目的とした実習形式の研修会
	2	「Webを利用した授業評価」	Webを利用した授業評価データの収集、情報検索技術を応用した自由記述文の評価手法に関する実習を交えた研修会
2006	1	IT活用によるファカルティ・ディベロップメントⅡ 「授業で活用するプレゼンテーションスライド（中級）」	教育用プレゼンテーションスライド作成の高度なスキルの習得を目的とした実習形式の研修会
	2	学生参加型の授業作り 「当日ブリーフレポート方式（BRD）による双方向型の講義」	双方向型授業「当日ブリーフレポート方式」が授業改善に果たす役割を、講疑似体験により体感し討論
2007	1	統計科学にもとづく授業評価データの分析法	授業の質を高め授業改善に貢献する「本来の目的に合致した」システム作りとしてのFD委員会の取り組み成果の公表、単変量解析と多変量解析による授業評価データの可視化、テキストマイニングによる情報抽出などの紹介
2008	1	（共通テーマ）学習管理システムの活用とデータマイニング 第1日： 「LMSによるe-learningの展開とデータ収集」 第2日： 「データマイニングによる情報抽出」	授業改善に対する「ICTの適用性」を検討、「教育用ネットワークシステム」の概要説明 学生の授業評価データから「可能な限り多くの情報を引き出す」ための手法に関する実習を交えた研修会
2009	1	（共通テーマ）授業改善とICT 第1日： 「ICTを活用したプレゼンテーション資料の作成技法」 「学習管理・教材提示システムの授業改善への適用性」 第2日： 「テキストマイニングによる自由記述データの可視化」	プレゼンテーションスライド作成の基礎スキル習得を目的とした実習形式の研修会 授業改善に対する「ICTの適用性」について考える、「教育用ネットワークシステム」を使った授業展開事例を紹介 種々のアンケート回答データをテキストマイニングにより可視化する技法をデモにより紹介
2010	1	（共通テーマ）学習成果の可視化—ポートフォリオの活用— 第1日 「ポートフォリオの活用事例」 第2日 「ポートフォリオとICT活用」	学習ポートフォリオの教育への活用事例紹介（系・モデルの特徴を生かした事例報告） ポートフォリオ作成・自己学習促進ツールとして、情報共有を基盤としたWebサイトのデモおよび討論

表1は2004年度以降の研修会のテーマをまとめたものである。文部科学省は2009年にICT活用推進事業を創設し「ICTの進展に対応し、私立の大学、短期大学、高等専門学校（以下私立大学等という）におけるICTを活用した教育・学習方法の改善を図るための取り組みを支援する」とし

ている²⁾。本学 FD 委員会ではこれに先立ち2005年度に積極的に導入し、研修会を通して ICT 活用の推進を目指してきた。また研修会では常に活発な討論を取り入れ、所属を超えた意見交換や情報共有を目指している。

(2) 授業評価アンケートの実施

当初授業評価は、各教員に一任し行われていたが、全学統一フォームによる実施の必要性が叫ばれ、2000年度に統一フォームが完成した。その後質問項目や集計処理、結果のフィードバックなど回を追うごとに実施システムを改善し、現在に至る。これまでの流れは表2の通りである。質問シートの変更など主要な部分に強調を付した。

表2 アンケート実施方法の改善

(年度)	(内 容)
1997	全学統一フォームによる実施の提案
1999～2000	全教員の意見を集約し授業評価マークシート統一フォームを作成
2000	統一フォーマットによる授業評価 を期末毎に一斉に実施 データ処理は電算課（現電算システム室）に依頼
2004	マークシート読み取りソフトを導入 読み取りおよび集計作業は FD 委員と教務職員で行う 集計結果をデータ（フロッピーディスク）で返却 担当教職員の負担の軽減を目的として、読み取り・集計作業を外注で行うよう提案
2005	Web サイトによる授業評価の紹介（一部のモデルで導入済み）
2007	質問項目の見直しが提案され、教授会の審議を経て 質問シートを改訂 した 授業形態毎に分かれていたシートを統一した FD 委員会が管理する Web サイトで全体集計結果を公開し随時閲覧可能とした 学園内他部門のマークシート読み取り装置やソフトを借り FD 委員が集計
2009	授業評価アンケートの再構築を検討 普通紙によるマークシート作成が提案され試験運用を開始 ホームユースレベルのスキャナや読み取りソフトにより FD 委員が集計
2010	読み取り精度や処理速度を上げるため、ビジネス用スキャナを導入
2011	全学的に 普通紙による授業評価 実施、フェイス項目記入方法の変更 Web サイトによる授業評価 実施

(3) 授業改善を目的とした ICT 活用の推進

2005年度より授業改善への ICT 活用を推進する活動を積極的に行ってきた。具体的な活動としては、

- ・教育コンテンツ作成（プレゼンテーションスライドなどの教材作成）のスキルアップを目指した研修会の実施
- ・ICT を活用した授業評価データの分析手法の提案
- ・教育用ネットワークシステム（Web サイト）の構築と活用の推進
- ・授業評価データ集計業務を効率よく行うためのシステム構築

などが挙げられる。

2009年度には学習管理システム（LMS）の全学的展開を計画し、moodle⁽¹⁾ を利用した教育支援ポータルサイト（教育用ネットワークシステム）を構築した。改善を重ねつつ管理・運営しており、2012年度前期は非常勤を含めた8名20科目の学習コースを教員の要請により設置した。図1にトップページの外観を示す。



図1 教育支援ポータルサイトのトップページ

(4) 委員による会議・勉強会の実施

定例会議を年3～4回、メーリングリストによる打ち合わせや意見交換を数回実施している。年度の初めは活動方針を打ち出し、それらに即して年度内の活動計画を検討する。こうした議事内容を教授会で報告し、情報の公開や共有、FD活動への協力を求めるとともに各教員の改善意識を促すよう努めている。

また2010年度～2011年度には、授業評価データ分析や教育用ネットワークの定期的な勉強会（第2・第4土曜日）を実施した。その他、研修会の事前勉強会などを随時実施している。

(5) その他

継続的な活動ではないが、年度によっては次のような活動を随時行っている。

- ・他大学や企業、文部科学省が主催するフォーラムや各種研修会への参加
- ・公開授業の実施（1995年度のみ実施）
- ・在学生を対象とした教育評価アンケート（2010年度より毎年実施。後述する「2-(4) 2011年度教育評価アンケート実施報告」参照）

2. 2011年度 FD 活動の報告

(1) 2011年度活動の概要

2011年度活動のテーマは以下2点である。

- ・ICT活用の推進（データ公開用プラットフォームとしての教育支援ネットワークシステム moodle サイトの運用）
- ・PISA型学力観と成績評価の厳正化

具体的には表3に示すとおり、前年度と同じくFD研修会、授業評価、教育評価、会議・勉強会を中心に行った。

その他、メーリングリストを活用し、随時委員間でコミュニケーションを図っている。以降にFD研修会、授業評価アンケート、ICT活用推進活動の詳細を報告する。

表3 2011年度の主な活動

2011年4月～5月	ICT活用に関する勉強会
2011年6月8日	第1回FD委員会 2011年度活動方針、授業評価実施と結果の公開、データ公開用プラットフォームとしての moodle サイトの運用を中心に討議
2011年7月	前期授業評価アンケート実施
2011年8月4日	第2回FD委員会 FD研修会テーマの確認と内容の検討、授業評価アンケートの今後の検討課題、教育評価アンケート準備、教育用サイト活用の推進、研究紀要委員会との連携の検討
2011年8月下旬 ～9月上旬	前期授業評価アンケート集計および各教員への集計結果のフィードバック
2011年9月5日	第1回FD研修会 「授業改善ツールとしての moodle —シラバス提示から授業評価に至る活用事例—」
2011年9月13日	教育評価アンケート実施、集計作業、結果のフィードバック
2011年10月27日	第3回FD委員会 教育評価アンケート集計方法・マークシート保管に関する確認、授業評価データ集計結果および授業改善計画の提示と公開方法、第1回FD研修会の反省と第2回テーマの検討、次年度予算案ほか
2011年12月 ～2012年1月	後期授業評価アンケート実施
2012年1月12日	第4回FD委員会 FD研修会の計画と具体的な内容
2012年2月16日	研修会に向けた事前勉強会
2012年3月1日 ～3月2日	第2回FD研修会 「成績評価制度とシラバスの活用」
2012年3月上旬	後期授業評価アンケート集計および各教員への集計結果のフィードバック

(2) 2011年度 FD 研修会報告

2011年度の活動方針にもとづき、2度研修会を実施した。

【第1回 FD 研修会】

- ・テーマ：「授業改善ツールとしての moodle —シラバス提示から授業評価に至る活用事例—」
- ・日時：2011年9月5日（月）10：00～12：00
- ・趣旨：授業改善へのICT活用推進の一環として、教育支援ネットワークシステム moodle サイトの利用方法を紹介する。授業改善の取り組みを公開する方法を紹介し討議する。
- ・内容：デモを中心とした概要説明、データ公開用プラットフォームとしての moodle サイトの運用、moodle の機能を活用し教材提示や課題収集方法、学習コース登録申し込み方法の説明、授業評価アンケートからの改善方策を明示的に公開する方法などについて実習を通して説明する。
- ・参加人数：20名（FD委員4名含む）

【第2回 FD 研修会】

- ・テーマ：「成績評価制度とシラバスの活用」
- ・日時：第1日 2012年3月1日（木）10：00～12：00
第2日 2012年3月2日（金）10：00～12：00
- ・趣旨：GPA制度導入に向けた準備。教員は学生の学習意欲を喚起し、きめ細かな履修指導を行うために、GPA制度を正確に理解し適用することが求められる。そこで授業の導

入部となるシラバス、および終了時に目標達成度を評価する成績評価制度をテーマに研修・討論を行った。

・内 容：第1日「GPA 成績評価の実習を通じた理解」

表計算ソフト Excel による実習を通して理解を深めるとともに、有用性について討論した。具体的な内容は、① GPA 制度のねらいと求め方、② GP と fGP の違い、③成績のパターンによる GPA の違いなど。

第2日「PISA 型に基づくシラバスの作成」

シラバスは各科目の到達目標や学修内容を明確に記述するものであり、学生に履修登録前に読むよう促すとともに、教員が初回授業の解説時に活用すべきものである。そこで PISA 型学力観を基盤に学習到達度の評価方法を再考し、各自のシラバスにわかりやすく明記するなど、実習を通してシラバスの書き方と解説法を考え、討論した。

・参加人数：第1日15名、第2日17名（何れも FD 委員4名含む）

（3）2011年度授業評価アンケート実施報告

ここ数年でアンケートの実施から結果のフィードバックまでの一連の流れがほぼ定着し、授業評価実施システムとして機能するようになった。2011年度は、授業番号等、学生の記入ミスが集計に影響しないよう、アンケートフォームのフェイス項目を一部改正するなど改善した。

【実施要領】

実施にあたって各教員に、口頭・メール・連絡コーナーへの掲示により実施要領を周知した。特に新任教員については、FD 委員が授業評価の目的や実施方法などについて事前説明を行った。

・実施時期：前期・後期ともに第13～15回の授業

・調査対象科目：2科目以内

・アンケートの様式：授業形態（講義、演習、実験・実習）にかかわらず同一フォーム

・実施方法：次の何れか

① マークシート用紙の利用……授業担当教員が学生にアンケート用紙を配布し、無記名で回答させ回収する。回収した用紙は封入し、実施後速やかに指定された場所に提出する。

② Web サイトの利用……PC を利用する授業などで教員が希望する場合は、FD 委員がマークシート用紙と同内容のアンケートページを作成する。希望により、記名式、自由記述による回答の設問を追加したモデルもあった。授業担当教員が回答を入力させ、FD 委員が回答結果をテキストファイルでダウンロードして集計する。

・調査結果のフィードバック：集計結果を表およびグラフにし、マークシートとともに返却。次項で述べる全体集計結果を参考資料として全教員に配布した。

【実施結果】

2011年度の授業評価実施科目数やフィードバックまでの作業状況を表4に示す。約80%の教員が実施した。

表4 2011年度授業評価実施状況

	実施方法	実施 教員数	実施 科目数	データ件数	読取エラー 件数（※）	集計作業日数 （集計～フィードバック）
前期	マークシート	56	89	2197	87（3%）	約9日間
	Web サイト	12	19	341	—	
後期	マークシート	45	62	1419	24（2%）	約4日間
	Web サイト	12	24	255	—	

※マークが不明確など記入時の不注意によるエラーのため、原票を確認し訂正

質問項目は2007年度に改訂された内容のままで、経年比較ができるよう変更していない（参考資料1 2011年度授業評価アンケート質問紙 参照）。学生は各質問項目に「5 その通りである」「4 ややそうである」「3 普通である」「2 あまりそうではない」「1 そうではない」の5段階で評価する。これらの質問項目ごとの平均値（±標準偏差）を授業科目ごとに算出し各教員に表とグラフで提示している。図2～4は全学的な（授業評価を実施した全科目の）平均値を示したものである。本資料は全教員に配布した。

演習、実験・実習科目については、何れの質問項目も前期・後期ともに4.0を上回り、良好であった。講義科目は4.0をやや下回る質問項目が多数あるが、全体としておおむね良好であるといえる。特に「Q3. 教員は、熱心に授業を進めましたか。」では前期・後期ともに4.0を上回り、教員の授業への取り組みが評価されていることがわかる。一方で「Q8. 授業は、興味がわくように工夫されていましたか。」は他よりも値が低くばらつきが小さいため、多くの教員が改善すべき問題のひとつとしてとらえるべきであることを示唆している。

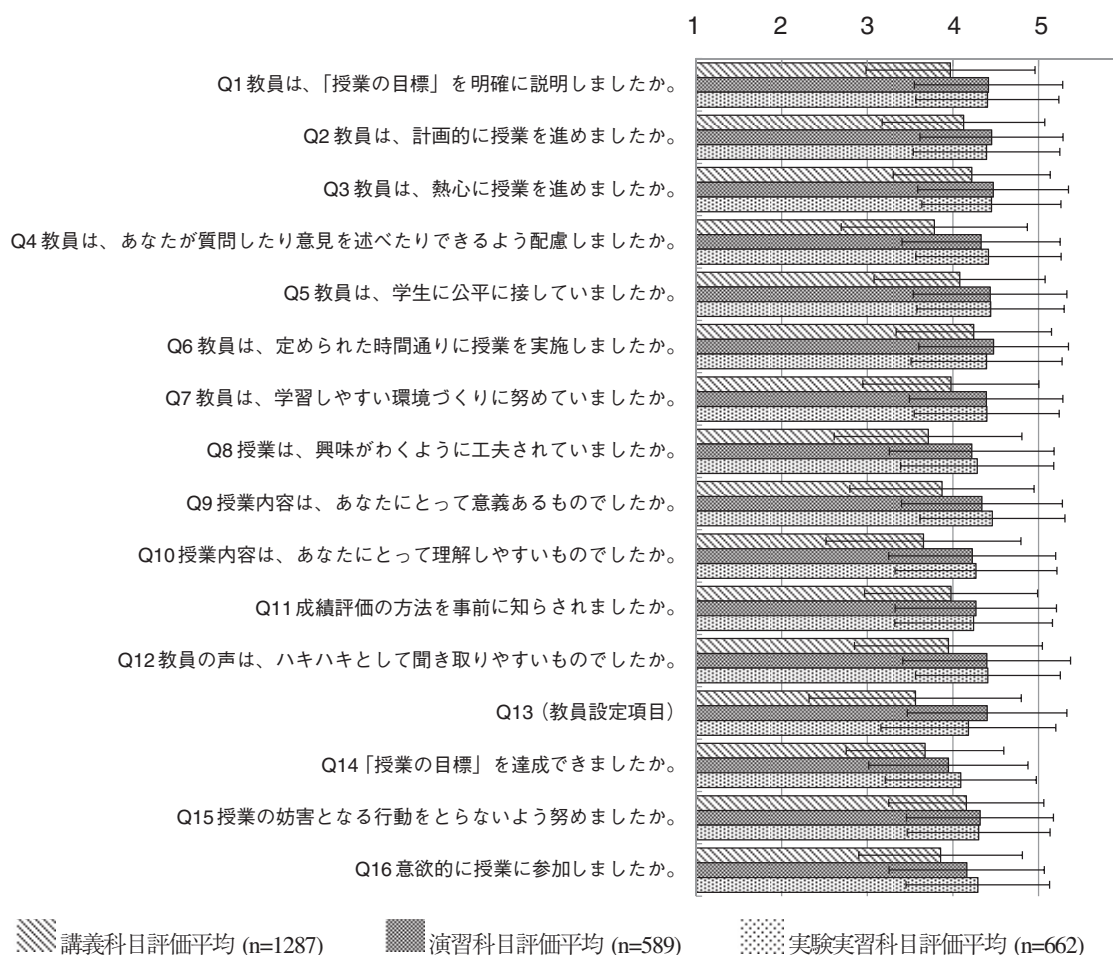


図2 2011年度前期授業評価全体集計結果

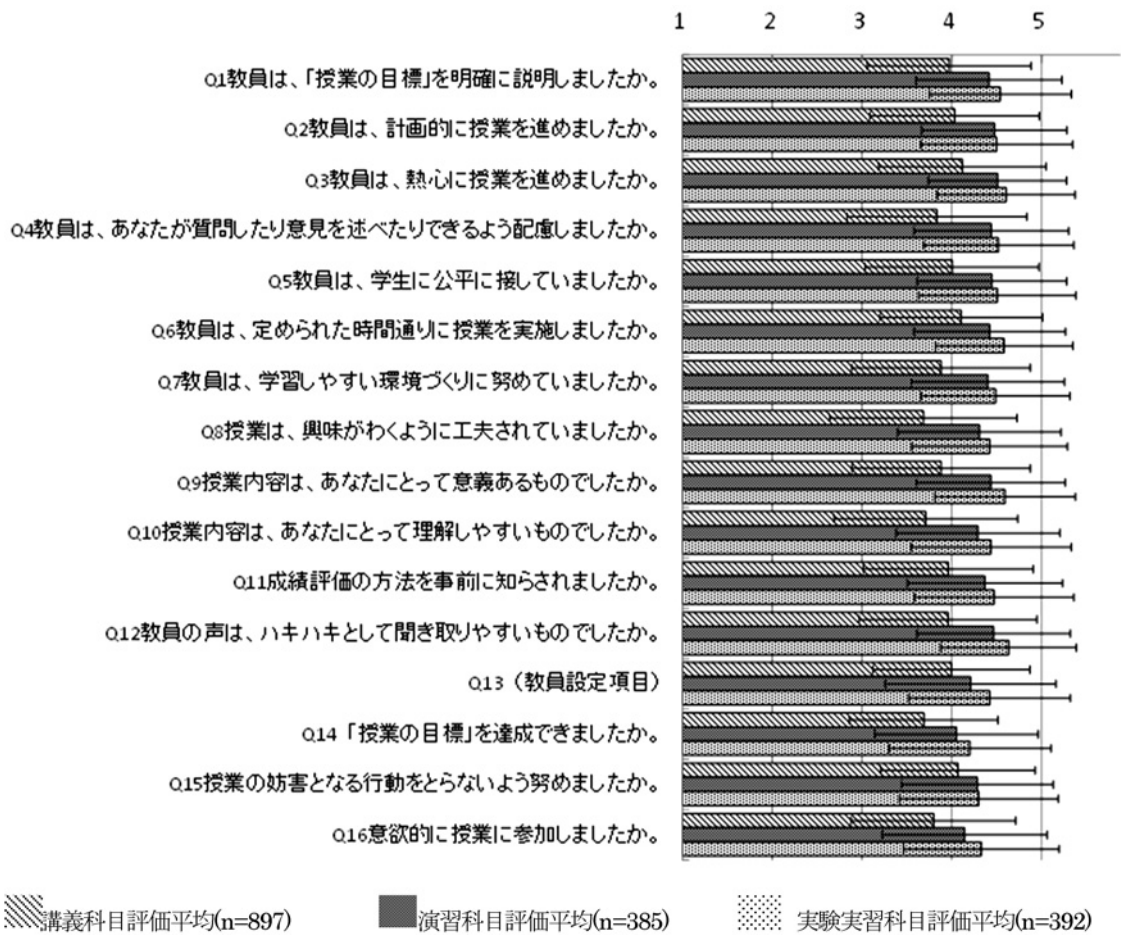


図3 2011年度後期授業評価全体集計結果

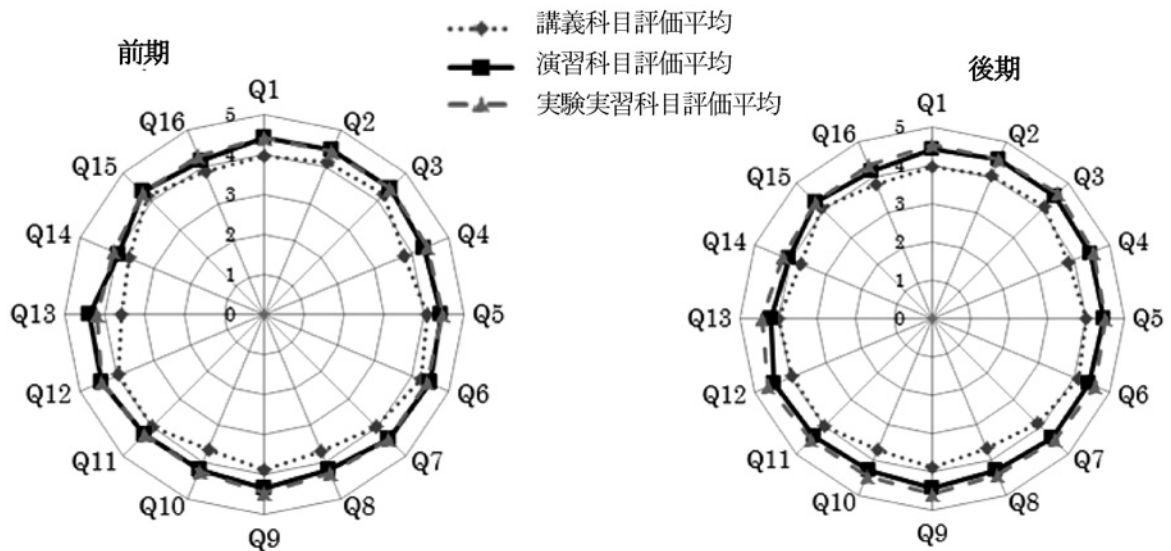


図4 2011年度授業評価全体集計結果レーダーチャート

(4) 2011年度教育評価アンケート実施報告

授業担当者が受講者に対し、授業改善の資料を得ることを目的として実施するアンケートとは別に、2010年度より毎年9月に短期大学部全体に関する学生の意識調査を実施している。「本学の教育に満足している」「授業科目が充実している」などの質問項目を始めとして、カリキュラム全体

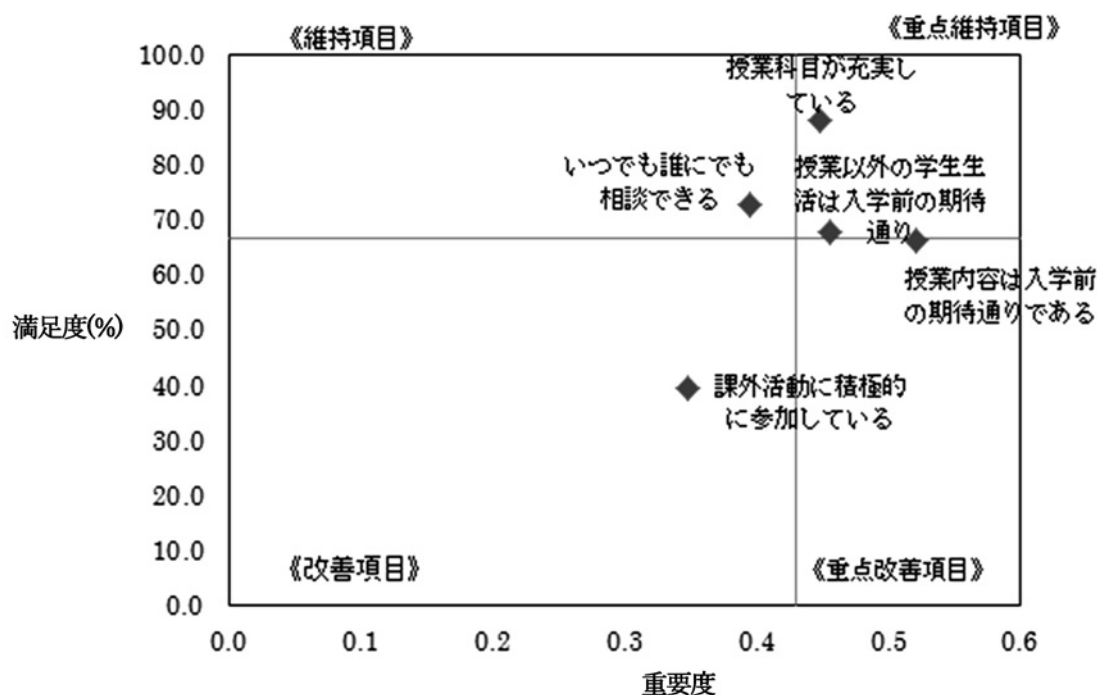


図5 教育活動 CS 分析 (49回生 n=192)

や学生指導の在り方を見直す際の資料を得ることを目的として行うものである。集計結果は教授会で報告した上で、各モデルに直接フィードバックしている。

図5は49回生の実施結果の一部である（参考資料2 在学性による教育評価アンケート2年次の質問紙 参照）。「本学に対する現在の感想として、次の項目がどの程度当てはまりますか？」として細分化した7つの質問項目に対し、「3とても良く当てはまる」「2当てはまる」「1当てはまらない」「0まったく当てはまらない」の何れかの回答を求めた。回答（4-0の段階評定の素点）を比尺度とみなし正規化した上で、第1の質問項目「本学の教育に満足している」を総合評価として、他の6項目との相関を求め布置した結果である。課外活動を除き右上部に集中していることから、おおむね良好であることがうかがえる。特に授業科目の充実について高い満足度が示された。

質問項目は、年度毎の比較ができるよう変更しないことを原則としているが、時代の流れや教育の在り方を鑑み、2012年度より再検討することとなった。

(5) 2011年度 ICT 活用の推進

2009年度に構築し、全学的に展開してきた教育用ネットワークシステムは、利用する部署に偏りがあるものの、広がりつつある。2011年度は9名の教員（常勤4名、非常勤教員5名）の申請により、29科目の学習コースを開設し、授業で利用された。主な利用方法は次のとおりである。

- ・ 授業情報の提示、学習教材の配信
- ・ フォーラム（掲示板）等による学生間、学生と教員間のコミュニケーション
- ・ 課題の収集、添削、コメントの提示
- ・ 成績管理
- ・ アンケートの実施

今後も上記ネットワークシステムのみならず、ICT全般について学生・教員双方が負担なく利用し、授業改善に最大限に効果を発揮できるよう、FD委員会として検討していく必要がある。

3. まとめと今後の課題

2011年度はFD研修会、授業評価、教育評価の実施結果から、各教員およびFD委員会としてあらたな知見を得て、授業改善に向けた努力を行ったといえる。しかし活動内容としては例年通りに留まった。また、FD委員会会議や研修会のディスカッションで挙げられた以下の提案や意見の解決には至っていない：

- ・質問項目の見直しが必要ではないか
- ・授業評価アンケートの学生に対する主旨説明が不十分または明確でない
- ・教員間の情報交換の場（コミュニティのようなもの）、授業公開や見学が授業改善へつながる
- ・授業評価、教育評価のアンケート結果から、さらに効果的な情報が得られるような分析が必要
- ・学生の興味・関心がわくような授業の工夫が必要

今後はこれらについて早期に検討を進める必要がある。

また2012年度は2011年度に引き続き「成績評価の厳正化」をテーマとして活動を展開する。「シラバス作成→授業実施→成績評価」これら一連の流れは切り離せないもので、すべての段階が授業改善の重要なポイントとなる。さらに各授業のみならず、カリキュラム全体から学士力を身につけさせるべく改善が必要となり、組織的な取り組みが必須である。

本報告により、教員一人一人が授業改善について再考するきっかけになるとともに、担当する授業だけではなく全学的な取り組みへの理解と協力、およびあらたな提案を期待する。

謝辞

本報告書を作成するにあたり、これまでのFD委員会の活動記録を参考にいたしました。FD委員を務められた先生方の前向きな取り組みに敬意を表するとともに、感謝の意を表します。

引用文献

- 1) 文部科学省：中央教育審議会 大学分科会 制度部会（第21回（第3期第6回））議事録・配付資料，http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/003/gijiroku/06102415/006/001.htm、2012/9/1取得.
- 2) 文部科学省：ICT活用推進事業，http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1266940.htm、2012/9/1取得.

注

- (1) Moodle はオープンソースの学習管理システム（LMS - Learning Management System）である．<http://moodle.org/about/>、2012/9/1取得.

参考資料1 2011年度授業評価アンケート質問紙

Nagoya University of Arts and Sciences Junior College

短大部 授業評価シート

△本シートをコピーして使用しないでください

学生の皆さんとともに、よりよい授業を形成したい—そのような願いから、授業改善を目的としたアンケート調査を、学期末に実施しています。皆さんには、いかなる成績上の不利益も与えませんので、以下の質問に対し率直にお答えください。

注意事項

- ・記入は黒色で正確に塗りつぶしてください。
- ・訂正する場合は消しゴムなどで、きれいに消してください。
- ・シートは機械処理しますので汚したり折り返したりしないでください。

良い例 ● 悪い例 ○ ⊙ ⊚

授業科目名

実施日

20 / /

授業形態

講義	①
演習	②
実験実習	③

担当教員

常勤	①
非常勤	②

授業番号

--	--	--

分類

	①
	②
	③
	④
	⑤

分類は必須項目ではありません。先生から指示があった場合のみ、記入してください。

■教員評価項目 (No.13は、担当の先生から指示があった場合のみ記入)

	5 その通り である	4 ややそう である	3 普通で ある	2 あまりそう ではない	1 そうでは ない
1 教員は、「授業の目標」を明確に説明しましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 教員は、計画的に授業を進めましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 教員は、熱心に授業を進めましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 教員は、あなたが質問したり意見を述べたりできるよう配慮しましたか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 教員は、学生に公平に接していましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 教員は、定められた時間通りに授業を実施しましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 教員は、学習しやすい環境づくりに努めていましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 授業は、興味がわくように工夫されていましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 授業内容は、あなたにとって意義あるものでしたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 授業内容は、あなたにとって理解しやすいものでしたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 成績評価の方法を事前に知らされましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 教員の声は、ハキハキとして聞き取りやすいものでしたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 _____	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

□自己評価項目

	5 その通り である	4 ややそう である	3 普通で ある	2 あまりそう ではない	1 そうでは ない
14 「授業の目標」を達成できましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 授業の妨害となる行動をとらないよう努めましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 意欲的に授業に参加しましたか。……………	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 意見・感想・要望等があれば、自由に述べてください。					

名古屋学芸大学短期大学部 授業改善等推進委員会

2011-07-01

Nagoya University of Arts and Sciences Junior College

在学生による教育評価アンケート

実施日：2011年 9月 日

この調査は名古屋学芸大学短期大学の「教育改善」を目的に在学生を対象として実施するものです。教育改善の目的以外に使用されることはありませんので、率直にお答えください。

注意事項

- ・記入は黒色で正確に塗りつぶしてください
- ・訂正する場合は消しゴムなどで、きれいに消してください
- ・シートは機械処理します。汚したり折り曲げたりしないでください

良い例 ● 悪い例 ○

■あなたの学年

- 1年
 2年

■あなたが所属するモデル

- メディカル秘書
 養護教諭
 英語コミュニケーション
 ビジネス実務
 食生活
 ファッションデザイン
 デザイン

■本学に対する現在の感想として、次の項目がどの程度当てはまりますか？	3	2	1	0
	とても良く当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全く当てはまらない
本学の教育に満足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本学を後輩にも薦めたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業科目が充実している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業内容は入学前の期待通りである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業以外の学生生活は入学前の期待通りである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課外活動に積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
いつでも誰にでも相談できる雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他に感想があれば自由に記述してください				

■次の項目がどの程度当てはまりますか？	3	2	1	0	X
	とても良く当てはまる	当てはまる	当てはまらない	全く当てはまらない	わからない
いつも自発的に学習するよう努力している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
入学後も mixi(ミクシィ)を利用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パケット定額サービス(パケ・ホーダイなど)に加入している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ご協力ありがとうございました。